

令和元年9月4日（水）

夏休みの作品展が始まりました。コモンホールに各学部の子どもの力作が展示されています。（9月10日火曜まで）

牛乳パックや空き箱・ペットボトルなど身近にあるものを使った作品、木材を使ったおもちゃや写真立てなどの作品、粘土の作品、折り紙、工作キットを使った作品、旅先で集めたものを使った作品、絵画や貼り絵など、工夫や苦勞、思いが伝わる作品ばかりです。

自由研究の成果も展示されていました。歴史、焼肉、トリックアートと、テーマも個性豊かです。小さい頃から自分の好きなことを見つけ、継続して取り組むことは、学びに向かう力や人間性を育むことにつながります。次の研究報告を楽しみにしています。

少し寂しかったのは、中学部の展示作品が少ないこと。部活や各教科の宿題が忙しかったからでしょうか？

